

平成30年度第1回みんなで支える森林づくり上小地域会議

開催日時 平成30年8月30日(木) 13:00~16:45

開催場所 上田合同庁舎202号会議室、上田市霊泉寺里山整備利用地域申請予定地区

出席委員 藤田健司(座長)、石井公彦(座長代理)、上原栄子、加々美貴代、島田直政、滝沢克子、塚田節男、矢ヶ崎雅哉

事務局 佐藤地域振興局長、小山林務課長、中島林務係長、千村普及林産係長、菊池治山林道係長ほか

会 議

1 あいさつ

(佐藤地域振興局長)

出席及び林務行政への協力等及び3名の方の委員への就任に御礼申し上げます。

森林税は課税期間が平成30年度から5年間延長となり、平成30年度の7億5千万円余の予算の執行を関係する部局とともに進めていく。

一方国においては先の通常国会で森林経営管理法案が可決成立、市町村が所有者に代わって森林の経営管理が可能となり、平成31年度から導入される森林環境譲与税を財源に適正な経営管理の進展が期待されている。

本日は森林税を活用した事業の内容や目標、森林環境譲与税と森林税の効果的な活用等について、ご意見を賜りたい。

2 座長等の選任

委員の互選により藤田委員を座長、座長の指名により石井委員を座長代理に選任



(佐藤局長あいさつ)



(藤田座長議長就任)

3 会議事項

(1) みんなで支える森林づくり上小地域会議設置要綱の一部改正について

(中島係長)

資料1を説明

説明要旨

- ・ 第2の所掌事項について県民会議に準じ、「目標」、「評価」の文言を追加したい。

(藤田座長)

質問・意見等がないようなので、原案どおり承認ということでよいか。

(異議なし)

(2) 里山整備利用地域の申請予定地区について(視察)～上田市霊泉寺～

(清水理絵氏－霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクト代表、井出担当係長)

資料2などを説明

説明要旨

- ・ 7年前に霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトを立ち上げ、植樹、溪流遊び等の自然体験イベントを行っている。
- ・ 十分に自然を楽しめるよう、山道の整備や川へ倒れた木の整理などを行っている。
- ・ 上田地域振興局では本年度、3地域の里山整備利用地域指定を目標としており、霊泉寺温泉地区はその1つである。
- ・ 指定後、山道の設置や間伐材で川へ降りる階段を整備するなど地域の森林資源の有効活用、災害に強い森林の整備など県民協働による里山の整備・利用事業の導入を検討している。



(溪流の状況を視察)



(森林の状況を視察)

(3) 平成30年度森林づくり県民税活用事業の内容及び目標について

(4) 今後の森林づくりの施策と森林づくり県民税の活用について

(中島係長)

資料3、4を説明

説明要旨

- ・ 資料3 P32～35により平成30年度の事業の内容及び目標について、第2期からの変更点など。
- ・ 資料3 P31により上田地域振興局管内の事業箇所。
- ・ 資料3 P77、資料4により、新たな森林管理システムの仕組みや森林環境譲与税の概要と用途など。

(加々美委員)

平成31年度から実施する予定の自然教育・野外教育プログラムは、教育委員会でも同様の検討会が立ち上がっている。

(千村係長)

(林務)部に伝え、教育委員会と調整して、無駄のないよう取り組んでいきたい。

(石井座長代理)

協定や経営計画など森林整備を実施できる条件及びその理解が難しいことが山の手入れが進まない一因となっている。第3期森林税の防災・減災のための森林整備や森林環境譲与税もどの場所が実施可能なのかわからない。

(井出担当係長)

防災・減災のための森林整備については、市町村や森林組合と合同で現地調査を行い、マップを作成、実施可能な場所を決める。

(中島係長)

森林環境譲与税は所有者からの委託などに時間がかかり、実施場所については何年もかけて少しずつ決めていくこととなる。

(塚田委員)

防災・減災のマップは地元を示していただけるのか。

(千村係長)

市町村を通じ、森林整備必要箇所として示していきたい。

(上原委員)

県民協働による里山の整備・利用事業のメニューの鳥獣被害対策としての緩衝帯の整備について、鳥獣被害に悩んでいる地域で取組を進めてほしい。

(千村係長)

緩衝帯の整備の内容は茂っている下層木の除去となっており、柵は実施できない。

(石井座長代理)

数年経つと元に戻ってしまう。

(千村係長)

緩衝帯の整備の補助は原則1回、それ以降は自力での実施となる。

(井出担当係長)

第1回目は木が太い等整備がたいへんなため、補助を有効に活用してほしい。

(中島係長)

使用する資機材への補助もある。

(加々美委員)

霊泉寺の取組を進めていただき、広報し、同様の取組が広がってほしい。

まちなか緑地整備についても住民に身近で、目を向けられるのでよい。

竹林の整備もやってみたいメニューである。

(千村係長)

みどりの基金で実施可能な場合もあるので留意する必要がある。

(島田委員)

子供が木に触れる機会が少なくなっている。機会を増やすことが大切である。

地元での地消地産のほか、外消にも力を入れてほしい。

(千村係長)

森林づくり県民税では地消、森林環境譲与税では外消に取り組む。

森林環境譲与税は山のない大都市の区などにも配分されるため、木材利用を働きかけていく。そして森林認証など付加価値をつけて供給していきたい。

(藤田座長)

県民協働による里山の整備・利用事業は森林づくりと併せて、地域づくりもできるようになりすばらしい。

(滝沢委員)

地域づくりに加えて、子供の育成にも配慮してほしい。子供が興味を持てるよう教育にも投資してほしい。

人口減少の昨今、林業後継者、ボランティアを維持するのも難しい。そのため、森林税は必要などころに使ってほしい。期待している。



(左から島田・加々美・上原委員、石井座長代理)



(左から矢ヶ崎・塚田・滝沢委員)

(塚田委員)

補助を得るには書類等の手続きがたいへんである。簡単な手続きで、かつ小さなことに対しても補助がでるようになれば動きやすくなる。

(矢ヶ崎委員)

森林税のリーフレットは、1、2期の成果と課題、これに基づいた3期の取組が示されており、わかりやすい。一般の人に対してこのリーフレットをおおいに活用し説明していただきたい。

(5) その他

(中島係長)

資料5を説明

説明要旨

- ・ 大北森林組合等による補助金不適正受給事案に対する再発防止のため、上田地域振興局林務課では、平成30年度版林務部コンプライアンス推進行動計画に基づき、再発防止策の定着状況の検証、森林・林業施策勉強会などを行う。

(質問・意見などなし)